

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	交流・環境		責任者	港営部 港営課長
施策名	良好な港湾環境の形成		連絡先	052-654-7871
事務事業名	ゴミの不法投棄・放置自動車対策の推進		連携課	関連事業担当、管財課、港湾管理事務所
目的	対象(誰・何を)	臨港地区	事業期間	平成13年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	不法投棄されにくい環境を整える。		
概要	ゴミの不法投棄や放置自動車の削減・抑制対策として、臨港地区のパトロールや一斉清掃を行い、投棄や放置をされにくい環境を整えます。		根拠法令等	港湾法、名古屋港管理組合放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例
活動内容	引き続き、ゴミの不法投棄や放置自動車の削減・抑制対策に努めます。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	27年度	28年度	29年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	8,785	13,085	7,249	9,706	事業費は放置自動車とごみの処理金額の合計です。
人件費	千円	3,568	3,584	3,676	3,609	
合計	千円	12,353	16,669	10,925	13,315	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
西部地区一斉清掃(回)	目標	2	2	2	2	西部地区は、不法投棄されやすいため、地元事業者及び自治体の協力のもと、年2回の一斉清掃を実施することで、啓発に努めます。		
	実績	2	2	2				
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
放置自動車処分台数(台)	目標	0	0	0	0	放置自動車の処分台数ゼロを維持します。		
	実績	0	0	0				
(単年度管理型)	事業進捗状況(29年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	西部地区一斉清掃、放置自動車とも目標を達成しており、今後も継続していきます。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○					港湾法・条例で定められた本組合の業務です。	
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					一斉清掃や、放置自動車ゼロ推進月間におけるパトロール等、清掃・監視・啓発等の活動を継続することによる抑止効果で、良好な環境の形成に貢献しています。	
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○					一斉清掃は地元事業者及び地域の協力を得て実施しており、また、不法投棄や放置されにくい環境を整えることで、ゴミ、放置自動車の発生を抑制しています。	

4 ACTION(取組)

課題	30年度以降の取組
平成29年度は放置自動車処分の実績はなかったものの、今後も継続的な取組を行っていく必要があります。	良好な港湾環境づくりには、ゴミの不法投棄対策や放置自動車の削減・抑制対策は不可欠であり、取組を維持していく必要があります。定期的な臨港地区のパトロール、及び、県民や事業者への啓蒙活動等により、投棄等をされにくい環境を整えることに努めます。